

新潟県 看護協会だより

第126号

平成28年2月20日発行



CONTENTS

会長あいさつ	2
平成27年度 看護協会看護学会	3~4
常任委員会の活動紹介	5~6
第2回 専門・認定分野の活動紹介	7
地域包括ケア推進研修	8
戴帽式	9
新潟県ナースセンターだより	10~11
広報委員会からのお知らせ	11
新「会員情報管理体制」について	12
お知らせコーナー	14



発行 公益社団法人 新潟県看護協会
新潟市中央区川岸町2丁目11番地
☎ 025-233-6550
FAX 025-266-1199
<http://www.niigata-kango.com/>
編集 広報委員会

会長あいさつ



新潟県看護協会 会長
佐藤 たづ子

新年あけましておめでとうございます。今年が皆様にとって良い年となりますようお祈りいたします。

昨年は、私たち看護職にとって大きな改革の年となりました。2025年を見据え、医療の在り方が大きく変わり、従来の病院完結型から、医療・ケアと生活が一体化した地域完結型へと転換がはかられました。病床機能の報告制度が始まり、加えて病院再編の動きがありました。変革の時代となるこれからの10年を力強く進んでまいりたいと心を新たにしています。

日本看護協会は、昨年看護の将来ビジョンを作成いたしました。さらに進む少子高齢化を見据え、看護が目指す機能・役割について、看護職自身が今一度確認し、自信と誇りを持って専門性を発揮していく指針となるものです。再度読み返していただきたいと思います。

新潟県看護協会の平成28年度重点目標は、昨年の内容を踏襲し、若干の文言整理にとども下記4点とし、1月30日の理事会で承認いただきました。

- ・地域包括ケアシステムの推進に向け、看護職の役割を発揮する
- ・看護職のキャリア開発の支援と看護の質の向上を図る
- ・看護職の労働環境改善を図るため、WLBを推進する
- ・支部の活動を推進し、組織強化を図る

昨年11月末に開催された上越支部看護師・保健師合同職能研修会に参加させて頂きました。まさに地域包括ケアの推進と、支部活動の推進を包含する内容の研修でした。発表者の地域を温かく見守る姿勢、対象者への心のこもった医療、看護の提供がなされている様に感激いたしました。多職種との連携にも圧倒され、新潟県の看護職はこんなにも素晴らしい看護を提供していると感動いたしました。今回の発表者からは、早速看護の日事業（5月12日）、10月予定の地域包括ケア研修会に話題提供をお願いいたしました。皆様からも是非参加頂き、ご意見を頂きたいと思います。

看護師のキャリア開発、看護の質向上のための教育研修事業につきましては、更に研修項目を増やすとともに、認定看護師養成研修の平成29年度開講に向け準備に入ります。またナースセンターは人員を4人に増やし強化いたしました。離職看護職の登録制度やナースセンターの相談窓口の開設に対応するものです。

今年も皆様からのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成27年度 看護協会看護学会

テーマ

『地域を支える
看護の力』

日 時：平成27年11月27日
場 所：朱鷺メッセ
参加人数：703名（看護職386名 学生317名）
□ 演：20題
示 説：17題

学会委員長 柄澤 清美

平成27年度の「新潟県看護協会看護学会」は、11月27日（金）テーマ「地域を支える看護の力」を掲げ、700人を超える参加を得て、朱鷺メッセにて盛大に開催されました。一般演題は37題の発表があり、臨床現場における様々な知見が報告され、座長の采配により活発な意見交換が行われました。

特別講演には名郷直樹先生をお招きし「長寿社会と地域包括ケアの役割」と題してお話しいただきました。現代の疾病構造における医療の役割を統計データに基づきながら共に考える機会になり、古い常識にとらわれずに人の幸せにつながるための健康支援について再考していこうと道標をお示しいただきました。また、看護フォーラムでは「病とともに生きることを支える看護」というテーマで任和子先生にご講演いただきました。地域包括ケア時代には人々の暮らしを支えるべく看護の本領発揮が求められていること、他職種連携の鍵は看護職連携であることなど、これからの看護のあり方に多くの示唆をいただきました。

地域包括ケアシステム構築に向け、看護の実践知を他職種や一般市民にも可視化して示すことが、これまで以上に求められるものと思われます。平成28年度も多くのご応募とご参加をお待ちしております。



特別講演

「長寿社会と地域包括ケアの役割」

講師 名郷 直樹 (武蔵国分寺公園クリニック 院長)

座長 小山 歌子 (新潟医療福祉大学 健康科学部看護学科 教授)



質問や討論の時間もあり、会場と一体化した講演で今後の自分の将来について考えさせられる内容でした。

看護フォーラム

「病いとともに生きることを支える看護」

講師 任 和子 (京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教授)

座長 岡田 裕子 (認定看護管理者)



地域と病院との関係など、とても分かりやすい内容で、講演に参加した方からは「今も働いているけどもっと働きやすくなった」等の声も聞かれました。

平成28年度「新潟県看護協会看護学会演題申込について」ご案内

開催日 平成28年12月2日(金) 会場 朱鷺メッセ

演題申込について

- ・「演題申し込みについて」及び「演題申込書」はHPに掲載されていますのでご確認ください。
- ・「演題申込書」をダウンロードし、募集期間内にHPに掲載されているアドレスに送信をお願い致します。
- ・演題募集期間は平成28年3月15日～4月20日 15:00となっています。

皆様からのご投稿をお待ちしています。

常任委員会の活動紹介

学会委員会

委員長 柄澤清美

学会委員会は、年1回開催される新潟県看護協会看護学会の企画運営を行います。①学会テーマを決め講師を推薦する②学会発表の応募を受付ける③学会集録集の編集をする④当日のプログラムを決めスタッフとして運営にあたるなどが具体的なミッションです。これらについて、県内の看護活動と看護研究の活性化につながりますように思いを込めながら活動しています。ただ、限られた活動時間のため細やかな対応に限界があることが悩みです。

どうか、看護学会にご参加ください。発表にあたっては

指導者からのサポートも受けられ、よい経験になると思われます。他施設の実践を知り、交流する機会は、きっと日々の看護の視野を拡げてくれることと思います。



災害看護委員会

委員長 保科寛子

東日本大震災では、全国の災害支援ナースが東京の表参道に集結し、被災地支援に向かいました。これはみなさまの記憶にも残る出来事ではないでしょうか。新潟県は平成16年と19年の短期間で、2度の大地震を経験しています。被災県として、新潟県看護協会の災害看護委員会は、災害時に活動できる災害支援ナースの育成を目指し、全国的にみても、かなり早い段階から活動をしています。今年度の登録者を含めると、新潟県の災害支援ナースは256名となりました。災害看護委員会は、災害支援ナースの育

成と、災害支援ナースを育成する指導者の育成に力を注ぎ、いかなる災害にも対応できる人材やネットワークづくりを行っています。今後とも、みなさまのご理解とご協力をいただきたくお願い申し上げます。



思春期・エイズ相談事業委員会

委員長 河内浩美

本委員会は、新潟県から受託を受け昭和59年度より相談事業の運営を行っております。電話相談事業では、登録されている相談員34名(H27.7現在)が毎週土曜日の午後から3時間にわたり全国から寄せられるエイズや思春期の様々な相談に電話で応じています。

4名の委員から構成される委員会としての主な活動内容は、エイズおよび思春期電話相談に関わる業務や相談員を対象とした研修会を企画運営し、また、県内の看護系大学の学園祭に参加しエイズ予防啓発事業など行っていま

す。現在、電話件数が多く対応しきれない相談に対応できるよう事業の拡大を検討し相談員の募集を進めております。是非、電話相談に興味のある方は委員の方までご一報ください。



常任委員会の活動紹介

ナースセンター事業委員会

委員長 渡邊眞美

当委員会の活動目的は、ナースバンク事業に協力し、看護職員未就業者の復職を支援することです。

最近、ナースセンターの紹介で入职した看護師が、ブランクを感じさせず生き生きとよい仕事をしているという情報を多く耳にします。この思いをより多くの施設が実感できることを願って止みません。

昨年度は、再就業支援講習会とハローワークとの連携事業に力を入れ、一定の成果を上げることが出来ました。今年度はよりパワーアップしております。また、退職者届け出

制の立ち上げや、ナースセンターサテライト開設にも取り組んでおります。

ますます頼りになるナースセンターを目指して委員一同邁進していきます。皆様のご協力とご指導をお願い致します。



訪問看護推進委員会

委員長 小野菊世

今年度6月より、「ナースセンター事業委員会2」から名称が改められました。委員会の目的はその名の通り、訪問看護を推進することであり、新潟県からの委託事業として、研修会の運営とアンケート実施、評価、訪問看護の実態調査の実施及び調査報告書の作成を行っています。研修会は訪問看護従事者研修【実践編】と【管理編】、在宅看護研修を行っています。在宅看護研修は病院看護師以外からの参加もあり、前年度を上回る35名が受講されています。在宅療養や訪問看護に対する関心が高まっている兆

候と嬉しく思っています。地域包括ケア構築に向け訪問看護がより浸透し、利用が高まるよう活動していきたいと思っています。



労働環境改善推進委員会

委員長 近藤壽美子

本委員会は、今年度、社会福祉経済委員会と特別委員会のワークライフバランス(以下 WLB)委員会と一緒に、新たに結成された委員会です。労働環境改善に関する事項と看護職のWLBに関する事項を任務としています。委員8名と支援者6名で運営し、WLBに取り組む施設の支援やワークショップの開催、WLB取り組み普及の活動を始めました。WLBワークショップは毎年参加施設を募集し、平成22年度から15施設の参加があり、参加から3年目まで継続的な支援を続けています。

委員会は、労働環境に関して何となく感じていた気づきを客観的データから可視化し、より働きやすい職場づくりに向け、そのアドバイザーとしての役割を担う活動しています。委員会の活動が県内の看護師確保と定着につながるよう、今後一層努力をしていきたいと思っています。

興味のある施設は是非一言声かけをお願いします。



第2回

専門・認定分野の活動紹介

専門・認定分野を紹介します。

今年度は皆様の施設の「各分野で活躍する認定看護師」の特集をしています。

認定看護師制度は、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出すことにより、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかることを目的としています。

がん性疼痛看護 済生会新潟第二病院 此村奈都美

当院にはがん関連の認定看護師が3名在籍しており、このうち1名が専従看護師として勤務しています。私は2015年4月より専従看護師として活動しています。今年度はがん患者のQOLを支えることを目標にがん患者指導管理料算定体制の整備やがん患者に対する苦痛のスクリーニング体制の構築に取り組みました。

もう一つの活動としては、当院に在籍している9分野12名の認定看護師が協働して地域支援活動に取り組みました。認定看護師は月1回院内認定看護師連携会議を開催し、その会議をネットワークの場として活用しています。会議で地域支援活動の方向性を検討し、今年度は市民講座、西区医療スタッフへのナース講習会の開催、西区訪問看護ステーションを対象とした事

例検討会の実施、介護職員への勉強会の開催などを企画し実施しました。認定看護師による地域支援活動は地域住民が住み慣れた地域で安心して過ごせ、シームレスな医療・看護が受けられることを目標にしています。

今後も目標に向かい積極的な活動を実施していきたいと考えています。



脳卒中リハビリテーション看護 長岡赤十字病院 南雲みどり

脳卒中は日本人の死因の第4位であり、平成26年の「国民生活基礎調査」においては、介護が必要となった原因疾患の第1位として報告されています。急速な高齢化や生活習慣病の増加により、今後更に患者数は増加することが推測されています。「脳卒中リハビリテーション看護」は、日本看護協会が特定する18番目の特定看護分野として、2010年にスタートしました。対象となる脳卒中患者さんが急性期、回復期、維持期とステージを変えていく過程で、看護も疾病から障害、そして生活へとその役割を変えながら、患者さ

ん自身は継続したリハビリテーションと再発予防の為に疾病管理が必要となります。現在、私は脳神経外科病棟で看護実践に携わりながら、病棟スタッフに対する学習会やリハビリ部門とのカンファレンスの開催、院内ではラダーⅠ・Ⅱを目指す看護師を対象とした脳神経系のフィジカルアセスメント研修を担当し、脳神経領域の看護実践力向上を目標に活動しています。課題は山積みですが、病棟スタッフや院内の認定看護師、連携する他職種の方々の協力を得ながら、自己の役割が果たせるよう今後も活動して行きたいと思っております。

地域包括ケアシステム推進の為の 研修が行われました

日時 平成27年10月19日(月)

場所 朱鷺メッセ 国際会議室

参加者 206名(内非会員3名)

I. 講演：地域包括ケアにおける看護職の役割

講師 吉田 千文 聖路加国際大学看護学部 教授

II. シンポジウム

新潟県における地域包括ケアシステム

伊里 昌子 県庁医務薬事課 参事(座長兼務)

地域包括ケア病棟の取り組み

松井 昌子 信楽園病院退院調整専任 看護師長

地域包括ケアシステムと在宅看護の実践

佐藤 智亮 地域包括支援センターあじかた 保健師

猪股 卓子 県看護協会立訪問看護ステーションにいがた 主任

吉田 千文 (コメンテーター) 聖路加国際大学看護学部 教授



..... 地域包括ケアシステム推進の為の研修会を終えて

新潟県福祉保健部医務薬事課 伊里 昌子

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、国では地域包括ケアシステムの構築を目指しています。新潟県看護協会では、これを医療・介護等に関わる全て看護職が深く関与する課題と捉え、本研修会を開催したところです。当日は総勢200名を超える参加者があり、活発な質疑が交わされ、参加した皆様の新たな施策に対する関心の高さと取り組みへの意欲を感じました。

講師である聖路加国際大学看護学部の吉田千文教授からは、『地域包括ケアでの看護職の役割は、元来、自己と他者を気遣う力を有する全ての人々とケア力が存在する地域の力を信頼し、その力が様々な状況で発揮されるよう、人々を力づけ、ともに学習し続けること、そして気づいた人から始めること』『専門職間連携はそれぞれが目的ではなく、倒れそうな人に手を出せることであり、何が大事か関係者が本音で話し合い気づくこと』であると具体的にお話しいただきました。

これからは、病院、診療所、施設、在宅の区別なく、医療と介護の切れ目のないケアを考えていく時代になります。各地域において看護職が立場を超えて理解し合い、協力できる関係を築き行動していく、そのきっかけとなったものと心強く思いました。



戴帽式

誓いを述べ気持ち新たに

戴帽式によせて

新潟県厚生連中央看護専門学校 副校長 齋藤 敬子

新潟県厚生連中央看護専門学校では、平成27年10月13日(火)『戴帽式』を挙行了いたしました。

当校では、入学後、看護の基礎を一年半学び、例年この時期にこの行事を行っています。入学するや看護の学習が始まり、毎日「看護」という言葉を耳にしない日はなかったと思われるそんな中、この式典は一人ひとりの学生が看護・看護師への志と決意を新たにする意味を持ちます。

学生は、多くの御来賓、厚生連関係者、保護者、在校生、教職員らに見守られ、純白の白帽を戴き、キャンドルの灯を見つめ、「誓いの言葉」を唱和いたしました。



誓いの言葉

私たちは家族、先生方、実習でご指導くださる方々、受け持たせていただいた患者様、友達に支えられ、この日を迎える事ができ、感謝しています。

これからは、人の命を預かる者としての自覚を持ち、学ぶ姿勢を忘れず、日々進歩する医療の中で私たち自身も成長していきたいと思えます。

そして、患者様が笑顔になれるように、患者様の気持ちにより添える看護師になることを誓います。

今日戴いた白帽を臨床で身につけることはありませんが、心の中に纏い誇りを持ち凛々しく看護の道を歩み続けることを願っています。



新潟県ナースセンターだより



再就職支援事業から

<ハローワークにおける個別相談会>

県内の16のハローワークにて全90回の計画で出張個別相談会実施中です。1回当たりの相談は4人迄で、12月末現在59回実施、161人の方が相談に訪れました。新潟県労働局及びハローワークの職員の皆様からは全面的にご協力を頂き設営しているところですが、相談会から講習会へと繋がられるケースも多く再就職支援の良い機会になっています。

<再就職支援講習会>

今年度は未就業者を対象に、講義・演習形式の復職支援基礎コース(第1回・第2回)と看護の実際を体験する復職体験コースを開催しました。



同じ思いの友達ができました。

🌸 第2回復職支援基礎コースの様子



感染予防対策の実演



ドキドキ

新潟医療人育成センターにて

🌸 復職体験コースの様子

各施設のユニフォームを身にまとった受講生の皆さんは、緊張した面持ちではありましたが、指示されなくとも自然と体が動く方ばかりでした。提出された報告書には、自信がついた！スタッフさんからここに就職しない？と言ってもらえてうれしかった！早く現場に戻りたくなった！など、復職に前向きな意見が多数聞かれました。

ご協力頂いた病院、福祉施設、訪問看護ステーション、学校および講師の皆様、大変有難うございました。平成28年度はさらに一人でも多くの看護職が復職できるよう支援していきたいと思っております。次年度プログラムは5月中に公開する予定ですのご期待ください。

平成28年2月28日には新潟日報看護職就職応援キャンペーンが朱鷺メッセで開催されます。

また平成28年2月27日～3月1日の4日間、「セカンドライフの就労」と題した再就職支援講習会が新潟青陵大学で開催されます。こちらの受講は就業者・未就業を問いませんので、ご興味のある方は新潟青陵大学、または新潟県ナースセンターまでお問い合わせください。

事務局より 看護研修センターを御利用の皆様へ

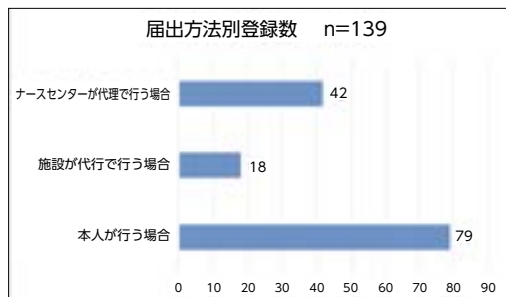
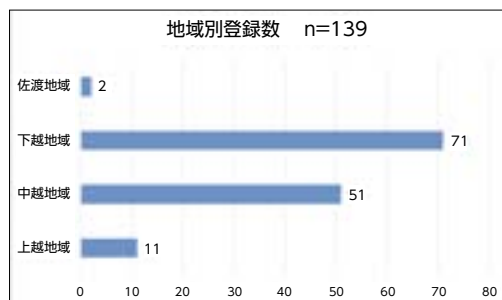
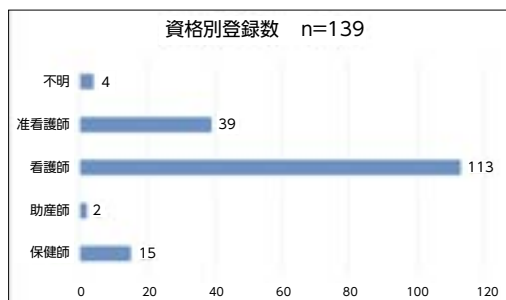
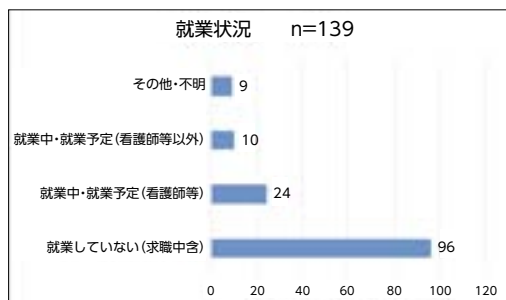
- 看護研修センターには駐車スペースがありません。
なお、県立がんセンター新潟病院の駐車場の利用は堅く禁止します。
必ず公共の交通機関をご利用ください。
- お忘れ物は3ヵ月保管後、処分させていただきます。ご了承下さい。

始まりました！ 看護師等の届出制度

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」が一部改正され、看護師等の離職時等におけるナースセンターへの届出制度が、平成27年10月1日からスタートしました。

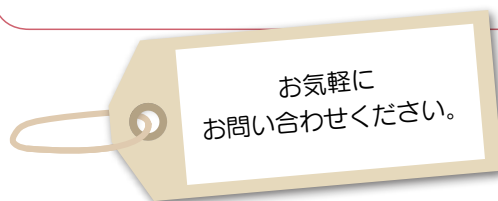
新潟県ナースセンターでは、届け出られた方のニーズに合わせて、就職相談や講習会、ガイダンスの案内等、再就職に向けたきめ細やかな支援を行います。

🌸 平成27年10月～12月末まで届出登録総数 139名



< 問い合わせ先 >

公益社団法人新潟県看護協会(新潟県ナースセンター)
 TEL : 025-233-6011 FAX : 025-265-4188
 E-mail : n-todoke@niigata-kango.com



広報委員会からのお知らせ

平成28年度はみなさんの病院の「自慢できること」「新たにスタートしたこと」「素晴らしいところ」を募集します。応募先は新潟看護協会広報委員会まで。400字程度で写真添付の上、そのなかから厳選させていただき、協会誌に掲載させていただきます。

応募先：新潟看護協会広報委員会 koho@niigata-kango.com

新「会員情報管理体制」について

～平成29年度から会員継続の手続きが簡単・便利に！～

1 新体制の目的

- ① 施設担当者の事務作業軽減、現金取り扱いのリスク軽減
- ② 入会組織率の維持・向上
- ③ 会員サービスの充実・向上



2 新体制の変更点

- ① インターネット入会の導入
 - ・WEBより入会手続きができるようになります。
- ② 口座自動引落とし（口座振替）の導入（現金を取り扱うリスクの低減）
 - ・会員の個人口座から会費を自動振替することにより、会費を取りまとめていた施設担当者の負担が軽減されます。（これまで同様、現金を施設で取りまとめることも可能です。）
- ③ 会費徴収方法の多様化
 - ・口座振替、銀行振込、コンビニ収納、クレジットカード決済で納入できます。
- ④ マイページの開設
 - ・会員一人一人に専用マイページが開設されます。所属施設、自宅住所、氏名など、変更があった場合は、マイページから変更の申請ができます。
- ⑤ 会員証の永年化
 - ・会員証をプラスチックカードにリニューアル。
また、スマートフォンなどで確認可能な電子会員証機能を導入します。

3 今後のスケジュール（予定）

- | | |
|-------------|--|
| ➡ H28年 現在 | H28年度入会申込み 受付中 |
| ➡ H28年 3月～ | 会員証（紙製）配布 |
| ➡ H28年 8月頃 | 新会員証（プラスチック製）配布開始
H29年度用継続申請書兼口座振替依頼書の配布・受付開始 |
| ➡ H28年 10月頃 | マイページ、施設用WEB公開予定 |
| ➡ H29年 1月下旬 | 第1回口座振替 実施 |



新「会員情報管理体制」に関するQ&A



Q インターネットが利用できる環境がない場合は、書面で入会手続きできますか？

A 書面による入会手続きが行えます。
新規入会・再入会の際は、「入会申込書兼口座振替依頼書」を記入のうえ、事務委託会社に送付してください。



Q 書面で継続申請を行うことができますか？

A H29年度以降、紙ベースの継続申請はありません。
毎年記入していただいていた継続申請書の提出はなくなります。
毎年11月頃に「翌年度会費のお知らせ」と「会員情報変更届」を送付します。
会員情報に変更があれば「会員情報変更届」に変更内容をご記入の上、事務委託会社に返送してください。



Q これまでどおり施設で現金をとりまとめて会費を納入することはできますか？

A できます。その場合、振込先は新潟県看護協会ではなく、納入代行会社の銀行口座への振込みとなります。(振込手数料はご負担ください。)



Q 永年会員証は登録内容が変わった場合、再発行されますか？

A 申請に基づき再発行を行います。マイページから行うことが可能です。
マイページがご利用いただけない場合は、県協会へご連絡ください。



今後も引き続き、協会ニュースやチラシなどでご案内していきます。

日本看護協会のHPもご覧ください。▶▶▶



お知らせコーナー

平成28年度 新潟県看護協会 通常総会・職能別交流集会のご案内

期日 平成28年6月15日(水) **会場** 新潟グランドホテル 悠久の間
【午前 通常総会/午後 職能別交流集会】

役員の大改選があります。役員候補者及び推薦委員を推薦する場合は、定款細則11条より、通常総会40日前(5月6日)までに会長に届出が必要です。

平成28年度 社会保険診療報酬改定説明会

開催日 平成28年3月8日(火) **時間** 13:00~17:00「DVD視聴」 **会場** 新潟県看護研修センター

* 詳細はホームページ参照(2月25日頃掲載予定)

新刊 図書案内

No.	題名	編著者	出版社
1	看護のなかの出会い	菊地多嘉子	日本看護協会出版会
2	病院で働くみんなの医療安全	東京海上日動メディカルサービス(株) 医療リスクマネジメント室	日本看護協会出版会
3	高齢者へのアロマセラピー	所澤いづみ 著	日本看護協会出版会
4	看護管理者のための医療経営学 第2版	尾形裕也 著	日本看護協会出版会
5	すぐに活かせる! 最新 創傷ケア用品の上手な選び方・使い方 第3版	監修 田中秀子	日本看護協会出版会
6	平成27年度版 診療報酬・介護報酬 改定概要+Q&A	公益社団法人日本看護協会 著	日本看護協会出版会
7	エンド・オブ・ライフを見据えた "高齢者看護のキホン"100	岡本充子・桑田美代子・吉岡佐知子・西山みどり・山下由香・戸谷幸佳 編	日本看護協会出版会
8	アロマセラピー入門	編集 今西二郎+荒川唱子	日本看護協会出版会
9	なぜ? どうすれば? 新人育成のお悩み相談	永井則子 著	日本看護協会出版会
10	平成27年 看護白書	公益社団法人日本看護協会 編	日本看護協会出版会
11	私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法 第2版	田村やよい 著	日本看護協会出版会
12	看護管理のベースとなる統計データの読み方 入門	編集 森山幹夫	日本看護協会出版会
13	訪問看護が支えるがんの在宅ターミナルケア	編集 一般社団法人全国訪問看護事業協会	日本看護協会出版会

編集後記

広報の研修に東京へ行ってきました!!
来年度は、研修を活かしワンランクアップした協会だよりをみなさまに発信していきたいと思っております!お楽しみに
広報担当: 落合、永石、木口、安藤、斎藤
koho@niigta-kango.com

新潟県看護協会会員数 平成28年1月20日現在

